

オシダ  
(オシダ科オシダ属)

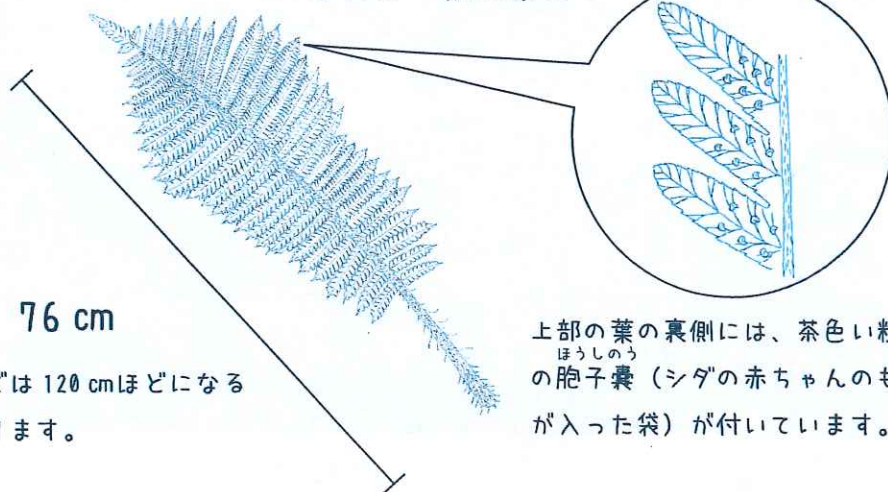
北海道・本州・四国に分布する夏緑性の大型のシダ植物。ササ類の生育が困難な礫を多く含む場所に生育することが多いといわれます。



▲林床の一面に広がるオシダは、まるで恐竜時代にタイムスリップしたかのよう

オシダの葉

これが一枚の葉だ！



76 cm

大きな株では 120 cmほどになるものもあります。

上部の葉の裏側には、茶色い粒状の胞子嚢ほうしのう（シダの赤ちゃんのもとが入った袋）が付いています。

オシダの葉が開くまで



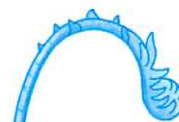
①雪の解けた林床に、雪の重みでぺちゃんこになった葉が姿を現します。これは昨年に枯れた葉が緑色のまま残ったものです。



②しばらくすると、落ち葉のふとんがかけられていた中心部から、毛むくじらの茶色い新芽が出てきます。



③新芽はどんどん上に向かってのびた後、葉を開きます。



イナバウアー